

こんな枯れた木はナラ枯れが原因かも！

情報提供に御協力願います

ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」によって、コナラやミズナラなどが集団的に枯れる被害です。

平成29年8月に、本県で、ナラ枯れと見られる現象が発生し、今後、被害の拡大を防ぐためには、被害木の早期発見、初期対応がとても重要です。

ナラ枯れ被害に遭うとなぜ木が枯れるのですか？

カシノナガキクイムシに集中的に穿入された樹木は、ナラ菌の作用により、水分などを吸い上げる機能を失い、急速に葉の色が赤褐色に変色し、枯死に至ります。



他県でのナラ枯れの発生状況（赤褐色に変色）

カシノナガキクイムシってどんな虫ですか？

穿孔虫類に属するナガキクイムシ科の一種で、体長約5mmの黒褐色の甲虫です。

6月～9月頃に、樹木内から脱出した成虫が、集合フェロモンに誘引されて集中的に樹木内に穿入し、産卵します。孔道内の幼虫は酵母類を餌として成長し、越冬後に蛹化、羽化して新成虫となります。



オスの尾端にはトゲがある。メスの背中には円孔（菌嚢）がある

カシノナガキクイムシ成虫（左オス、右メス）

では、ナラ枯れの特徴は？ 詳しくはウラ面に！

ナラ枯れによく見られる特徴

- 7月～9月に葉が紅葉し枯れる（大径木に多い）



ミズナラ大径木の枯死（9月）

- 幹に直径 1.5mm～2.0mmの多くの孔がある



穿孔孔の状況



穿孔するカシノナガクイムシ

※類似のヨシブエ
ナガクイムシの
穿孔孔は 1.0mm

- 幹の根元に大量のフラス（木屑と虫の排泄物が混ざった粉状のもの）がたまっている



幹の根元に堆積したフラス

ナラ枯れの疑いのある木を見かけたら、下記の県機関まで御連絡願います。

麻生区役所道路公園センター 公園整備担当
TEL 044-954-0505